平成24年1月27日
新日本製鐵㈱

平成23年度3/四期決算について

＜損益概要等（連結）＞

（単位 億円）

	H23.3/四 累計	1/四	2/四	3/四	差異 2/四→3/四
売上高	30,698	9,855	10,422	10,420	▼ 2
営業利益	821	385	258	177	× 81
経常利益	1,241	570	371	299	※ × 72
単独経常利益	385	338	90	▲ 43	× 133
特別損益	▲ 964	▲ 74	ー	▲ 890	× 890
当期利益	▲ 12	290	196	▲ 500	× 696
＜一株当たり当期利益＞	＜▲ 0.2＞	＜4.6＞	＜3.1＞	＜▲ 7.9＞	＜× 11.1＞
有利子負債残高		13,576	13,654	13,876	+222
D／Eレシオ		0.73	0.75	0.79	＋0.04

＜諸元＞

（1）当社

	H23.3/四 累計	1/四	2/四	3/四	差異 2/四→3/四
連結粗鋼生産量(万t)	2,446	830	831	785	▼ 46
（単独ﾍﾞｰｽ）	(2,282)	(775)	(778)	(729)	(▼ 49)
鋼材出荷量(万t)	2,188	740	728	720	▼ 8
鋼材価格(千円/t)	87.7	85.8	89.8	87.6	× 2.2
為替(円/$)	79	82	78	78	ー

（2）全国

粗鋼生産量(万t)	7,989	2,637	2,695	2,657	▼ 38
鋼材消費(万t) *1	4,588	1,398	1,567	1,623	＋ 56
（ウチ製造業）	(3,078)	(926)	(1,068)	(1,084)	(＋ 16)
＜製造業比率＞	＜67%＞	＜66%＞	＜68%＞	＜67%＞	＜▼1%＞
普通鋼鋼材消費(万t)	3,644	1,111	1,241	1,292	＋ 51
建設	1,416	443	467	506	＋ 40
製造業	2,228	668	775	785	＋ 11
特殊鋼鋼材消費(万t)	944	287	326	331	＋ 5
国内ﾒｰｶｰ問屋在庫(万t)		560	564	551	▼ 13
薄板三品在庫(万t)		421	438 *2	425	▼ 13

*1 当社推定値
*2 11月末（確報）

※ 連結経常利益の対前四半期（×72億円）分析

	対前四半期 2/四→3/四
連結経常利益 差異	**× 70**
1. 製鉄事業	**× 60**
(1) 単独	× 130
① 生産出荷 ▼8万t（728→720万t）	× 20
② 販売価格・構成	× 150
③ 原料価格（ｷｬﾘｰｵｰﾊﾞｰ含む）	○ 50
④ コスト改善	○ 70
⑤ 在庫評価差	× 200
⑥ その他(固定費期間差等)	○ 120
(2) グループ会社・消去	○ 70
2. 非鉄事業	**○ 30**
3. 調整額	**× 40**

（参考）セグメント情報

（単位 億円）

	H23.3/四 累計	1/四	2/四	3/四	差異 2/四→3/四
売上高	**30,698**	**9,855**	**10,422**	**10,420**	**▼ 2**
製鉄	26,414	8,519	8,996	8,898	▼ 98
ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ	1,614	440	526	647	＋ 121
都市開発	526	127	151	246	＋ 95
化学	1,498	483	527	488	▼ 39
新素材	420	142	143	134	▼ 9
ｼｽﾃﾑｿﾘｭｰｼｮﾝ	1,106	362	399	344	▼ 55
調整額	▲ 884	▲ 220	▲ 323	▲ 340	▼ 17
経常利益	**1,241**	**570**	**371**	**299**	**× 72**
製鉄	943	485	256	200	× 56
ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ	28	2	▲ 0	26	○ 26
都市開発	76	23	17	36	○ 19
化学	107	36	36	33	× 3
新素材	2	2	2	▲ 3	× 5
ｼｽﾃﾑｿﾘｭｰｼｮﾝ	72	29	24	18	× 6
調整額	10	▲ 9	34	▲ 14	× 48

（参考） 当社連結経営強化の状況について

■事業統合・経営基盤強化

時期	社名	具体的内容
H22.10月	NSユナイテッド海運㈱	日鉄海運㈱と新和海運㈱の合併
H22.10月	太平工業㈱	連結子会社化
H23.3月	Nippon Steel India Private Limited	インド新日鉄（ニューデリー）を設立
H23.6月	Nippon Steel Galvanizing (Thailand) Co., Ltd.	タイ溶融亜鉛メッキ鋼板製造・販売会社の設立
H23.6月	N-EGALV(NIPPON EGALV STEEL SDN.BHD.)	マレーシア/電気亜鉛メッキ鋼板製造・販売会社（N-EGALV）の連結子会社化
H23.10月	ジオスター㈱	東京エコン建鉄㈱とジオスター㈱の合併・連結子会社化
H23.10月	NSMコイルセンター㈱	日鐵商事㈱、三井物産ｽﾁｰﾙ㈱、新日本製鐵㈱3社のｺｲﾙｾﾝﾀｰ事業統合
H23.10月	武鋼新日鉄(武漢)ブリキ有限公司	ブリキ製造・販売の合弁会社設立
H23.11月	AL Ghurair Iron & Steel L.L.C.	アラブ首長国連邦溶融亜鉛メッキ鋼板製造・販売会社の持分法適用関連会社化

■その他既公表案件

・田中電子工業へ新型銅ボンディングワイヤ（EX1）に関するライセンスを供与(H23.7月公表)
・日鉄特殊鋼棒線製品（蘇州）有限公司の能力増強投資について(H23.7月公表)
・鋼製家具製造会社エヌエスオカムラの復興について(H23.8月公表)
・新日鉄、米ｴｸｿﾝﾓｰﾋﾞﾙが高強度ﾗｲﾝﾊﾟｲﾌﾟ用鋼管（X120）の敷設溶接技術に関するﾗｲｾﾝｽ供与契約を締結について(H23.8月公表)
・新日本製鐵㈱と住友金属工業㈱との統合基本契約の締結について(H23.9月公表)
・新日鉄グループ試験分析会社の統合再編について(H23.9月公表)
・日鐵物流㈱と日鐵運輸㈱の統合再編について(H23.9月公表)
・成形性を2倍に高めた自動車用超ハイテンが世界で初めて実用化(H23.10月公表)
・日鉄住金鋼板　伊藤忠丸紅鉄鋼及びベトナム現地ﾊﾟｰﾄﾅｰ2社と合弁によりｶﾗｰ鋼板製造会社を設立(H23.10月公表)
・㈱富士鉄鋼センターによる青柳鋼材興業㈱厚板溶断加工事業の譲受けに関する基本合意について(H23.12月公表)
・6インチ口径炭化ケイ素単結晶ウェハの開発に成功（H23.12月公表）
・新日本製鐵㈱と住友金属工業㈱の経営統合に関する公正取引委員会の審査結果について(H23.12月公表)
・ウジミナス社の協定株購入契約に基づく株式の購入および新株主間協定の発効について（H24.1月公表）

（次ページにつづく）

平成24年1月27日
新日本製鐵㈱

平成23年度決算見通しについて

＜損益見通し（連結）＞　　（単位　億円）

	H23FY見				H22FY	H23上→H23下見	H23FY見（10/26公表）
		上期	下見	3/四	4/四見			
売上高	40,500	20,278	20,222	10,420	9,802	41,097	▲ 56	42,000
営業利益	700	644	56	177	▲ 121	1,656	× 588	1,300
経常利益	1,200	942	258	299	▲ 41	2,263	※1 × 684	※2 1,800
単独経常利益	100	429	▲ 329	▲ 43	▲ 286	801	× 758	600
特別損益	▲ 964	▲ 74	▲ 890	▲ 890	0	▲ 409	× 816	▲ 74
当期利益	0	487	▲ 487	▲ 500	12	931	× 974	850
<一株当たり当期利益>	<0.0>	<7.8>	<▲ 7.8>	<▲ 7.9>	<0.2>	<14.8>	<× 15.6>	<13.5>

＜諸元＞

連結粗鋼生産量（万t）	3,230程度	1,661	1,570程度	785	790程度	3,492	▼ 91	3,330程度
（単独ベース）	(3,010程度)	(1,553)	(1,460程度)	(729)	(730程度)	(3,247)	(▼ 93)	(3,100程度)
鋼材出荷量（万t）	2,920程度	1,468	1,450程度	720	730程度	3,135	▼ 18	2,970程度
鋼材価格（千円/t）	86程度	87.8	85程度	87.6	82程度	81.7	× 3	88程度
為替(円/$)	79程度	80	79程度	78	80程度	86	1円高	80程度

（参考）セグメント情報

売上高	40,500	20,278	20,222	10,420	9,802	41,097	▲ 56	42,000
製鉄	34,500	17,516	16,984	8,898	8,086	34,734	▲ 532	35,500
エンジニアリング	2,500	967	1,533	647	886	2,549	+566	2,500
都市開発	750	279	471	246	225	865	+192	750
化学	1,950	1,010	940	488	452	1,938	▲ 70	2,100
新素材	550	286	264	134	130	608	▲ 22	650
システムソリューション	1,650	762	888	344	544	1,597	+126	1,650
調整額	▲ 1,400	▲ 543	▲ 857	▲ 340	▲ 517	▲ 1,197	▲ 314	▲ 1,150
経常利益	1,200	942	258	299	▲ 41	2,263	× 684	1,800
製鉄	700	742	▲ 42	200	▲ 242	1,819	× 784	1,350
エンジニアリング	125	1	124	26	98	148	○123	125
都市開発	75	40	35	36	▲ 1	92	× 5	70
化学	125	73	52	33	19	132	× 21	135
新素材	5	5	▲ 0	▲ 3	3	21	× 5	20
システムソリューション	125	53	72	18	54	113	○19	125
調整額	45	24	21	▲ 14	35	▲ 64	× 3	▲ 25

※1　H23上期から下期の連結経常利益変動

（単位　億円）

連結経常利益　差異	× 680
1. 製鉄事業	× 780
(1) 単独	× 760
①生産出荷 ▼20万t（1,468→1,450万t程度）	× 100
②販売価格・構成	× 400
③原料価格（ｷｬﾘｰｵｰﾊﾞｰ含む）	○ 100
④コスト改善	○ 250
⑤在庫評価差	× 500
⑥ その他(固定費期間差、君津第2高炉改修等)	× 110
(2) グループ会社・消去	× 20
2. 非鉄事業	○ 110
3. 調整額	× 10

※2　前回公表（10/26）からの連結経常利益変動

（単位　億円）

連結経常利益　差異	× 600
1. 製鉄事業	× 650
(1) 単独	× 500
①生産出荷▼50万t（2,970→2,920万t程度）	× 200
②販売価格・構成	× 400
③原料価格（ｷｬﾘｰｵｰﾊﾞｰ含む）	○ 100
④コスト改善	～
⑤在庫評価差	～
⑥ その他	～
(2) グループ会社・消去	× 150
2. 非鉄事業	× 20
3. 調整額	○ 70

＜剰余金の配当方針について＞

当社は既公表の配当方針に基づき、第2四半期末（中間期末）の剰余金配当として1株当たり1．5円の配当を行うとともに、第3四半期決算公表時に当期末の配当予想額を公表する予定としてまいりました。

しかしながら、株式市場の変動による投資有価証券評価損等の変動リスクが大きいことから、年度決算が確定した時点で、既公表の配当方針を踏まえて、当期末の剰余金配当をご提案させていただくことと致したいと存じます。

（注）上記の予想には本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。
実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

平成24年1月27日
新日本製鐵㈱

［参考］

四半期業績の推移

平成23年度

	第１四半期	第２四半期	上期	第３四半期	第４四半期見	下期見通し	H23年度見通し（1/27公表）	H23年度見通し（10/26公表）
	億円	億円	億円	億円	億円	億円	億円	億円
売上高	9,855	10,422	20,278	10,420	9,801	20,221	40,500	42,000
製鉄	8,519	8,996	17,516	8,898	8,085	16,983	34,500	35,500
エンジニアリング	440	526	967	647	885	1,532	2,500	2,500
都市開発	127	151	279	246	223	470	750	750
化学	483	527	1,010	488	451	939	1,950	2,100
新素材	142	143	286	134	129	263	550	650
システムソリューション	362	399	762	344	543	887	1,650	1,650
調整額	(220)	(323)	(543)	(340)	(515)	(856)	(1,400)	(1,150)
営業利益	385 【3.9%】	258 【2.5%】	644 【3.2%】	177 【1.7%】	▲ 121 【▲1.2%】	55 【0.3%】	700 【1.7%】	1,300 【3.1%】
経常利益	570 【5.8%】	371 【3.6%】	942 【4.6%】	299 【2.9%】	▲ 41 【▲0.4%】	257 【1.3%】	1,200 【3.0%】	1,800 【4.3%】
製鉄	485 【5.7%】	256 【2.9%】	742 【4.2%】	200 【2.3%】	▲ 243 【▲3.0%】	▲ 42 【▲0.3%】	700 【2.0%】	1,350 【3.8%】
エンジニアリング	2 【0.5%】	▲ 0 【▲0.1%】	1 【0.2%】	26 【4.1%】	96 【10.9%】	123 【8.0%】	125 【5.0%】	125 【5.0%】
都市開発	23 【18.0%】	17 【11.5%】	40 【14.5%】	36 【14.8%】	▲ 1 【▲0.9%】	34 【7.3%】	75 【10.0%】	70 【9.3%】
化学	36 【7.5%】	36 【7.0%】	73 【7.3%】	33 【7.0%】	17 【3.9%】	51 【5.5%】	125 【6.4%】	135 【6.4%】
新素材	2 【2.1%】	2 【2.1%】	5 【2.1%】	▲ 3 【▲2.3%】	2 【1.7%】	▲ 0 【▲0.4%】	5 【0.9%】	20 【3.1%】
システムソリューション	29 【8.0%】	24 【6.1%】	53 【7.0%】	18 【5.5%】	52 【9.7%】	71 【8.1%】	125 【7.6%】	125 【7.6%】
調整額	(9)	34	24	(14)	34	20	45	(25)
当期純利益	290 【3.0%】	196 【1.9%】	487 【2.4%】	▲ 500 【▲4.8%】	12 【0.1%】	▲ 487 【▲2.4%】	0 【0.0%】	850 【2.0%】
1株当たり当期純利益	円 4.63	円 3.13	円 7.75	円 ▲ 7.95	円 0.20	円 ▲ 7.75	円 0.00	円 13.51

※各利益欄下段の【 】内は売上高利益率
※調整額における( )はマイナスを表す
※各期の数字を切り捨て表示している

平成22年度

	第１四半期	第２四半期	上期	第３四半期	第４四半期	下期	年度
	億円	億円	億円	億円	億円	億円	億円
売上高	9,706	10,514	20,220	10,031	10,845	20,876	41,097
製鉄	8,245	8,940	17,186	8,594	8,954	17,548	34,734
エンジニアリング	589	646	1,236	552	760	1,312	2,549
都市開発	187	199	387	159	318	477	865
化学	459	484	944	502	491	994	1,938
新素材	147	162	309	151	148	299	608
システムソリューション	339	397	737	354	505	859	1,597
調整額	(263)	(317)	(580)	(283)	(332)	(616)	(1,197)
営業利益	510 【5.3%】	670 【6.4%】	1,181 【5.8%】	339 【3.4%】	135 【1.2%】	474 【2.3%】	1,656 【4.0%】
経常利益	618 【6.4%】	729 【6.9%】	1,348 【6.7%】	535 【5.3%】	379 【3.5%】	914 【4.4%】	2,263 【5.5%】
製鉄	564 【6.8%】	612 【6.9%】	1,176 【6.8%】	435 【5.1%】	207 【2.3%】	643 【3.7%】	1,819 【5.2%】
エンジニアリング	26 【4.5%】	43 【6.7%】	70 【5.7%】	21 【3.9%】	57 【7.5%】	78 【6.0%】	148 【5.8%】
都市開発	19 【10.3%】	22 【11.4%】	42 【10.9%】	25 【15.9%】	25 【8.0%】	50 【10.6%】	92 【10.7%】
化学	17 【3.9%】	31 【6.5%】	49 【5.2%】	44 【8.8%】	38 【7.9%】	83 【8.4%】	132 【6.8%】
新素材	7 【5.2%】	7 【4.6%】	15 【4.9%】	0 【0.3%】	5 【3.8%】	6 【2.0%】	21 【3.5%】
システムソリューション	19 【5.7%】	24 【6.2%】	44 【6.0%】	27 【7.6%】	42 【8.3%】	69 【8.0%】	113 【7.1%】
調整額	(35)	(12)	(48)	(18)	2	(16)	(64)
当期純利益	268 【2.8%】	442 【4.2%】	710 【3.5%】	334 【3.3%】	▲ 112 【▲1.0%】	221 【1.1%】	931 【2.3%】
1株当たり当期純利益	円 4.26	円 7.03	円 11.29	円 5.32	円 ▲ 1.79	円 3.52	円 14.82

新日本製鐵株式會社
コード番号　5401　　上場取引所　東京、大阪、名古屋、札幌、福岡
問合せ先　　責任者役職名　広報センター所長
氏　　名　高橋　望　　TEL (03)6867-2130

＜平成 24 年 3 月期　第 3 四半期決算 補足情報＞

〔全国〕

１．粗鋼生産量

単位:万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
H22年度	2,807	2,736	5,542	2,766	2,770	5,537	11,079
H23年度	2,637	2,695	5,332	2,657	(※)2,600	5,257	10,589

(※)経済産業省見通し

２．在庫推移

	国内ﾒｰｶｰ問屋在庫	(在庫率)	薄板三品：熱延＋冷延＋表面処理	ときわ会Ｈ形鋼
	万ﾄﾝ	%	万ﾄﾝ	万ﾄﾝ
H22. 3 末	475	(108.0)	342	18.0
H22. 4 末	483	(127.8)	350	18.2
H22. 5 末	499	(126.7)	363	19.6
H22. 6 末	495	(120.1)	363	20.9
H22. 7 末	491	(121.7)	369	20.3
H22. 8 末	503	(134.0)	384	18.3
H22. 9 末	505	(125.2)	381	16.5
H22.10 末	523	(134.0)	392	16.0
H22.11 末	500	(124.0)	375	14.9
H22.12 末	516	(138.2)	382	14.9
H23. 1 末	518	(130.6)	387	16.0
H23. 2 末	514	(132.7)	374	17.5
H23. 3 末	509	(126.0)	383	18.3
H23. 4 末	538	(155.6)	404	18.8
H23. 5 末	563	(154.9)	420	20.6
H23. 6 末	560	(141.9)	421	21.5
H23. 7 末	543	(139.7)	418	20.6
H23. 8 末	562	(152.1)	435	19.3
H23. 9 末	564	(141.6)	438	18.1
H23.10 末	557	(132.3)	435	17.9
H23.11 末	551	(136.2)	425	17.3

〔当社〕

３．出銑量(当社＋北海製鉄)

単位:万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
H22年度	777	814	1,592	815	811	1,626	3,218
H23年度	776	803	1,579	757	740程度	1,500程度	3,080程度

４．粗鋼生産量

【連結ベース】　当社＋連結子会社

単位:万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
H22年度	863	872	1,735	868	889	1,757	3,492
H23年度	830	831	1,661	785	790程度	1,570程度	3,230 程度

【参考：単独ベース】

単位:万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
H22年度	800	817	1,617	804	826	1,630	3,247
H23年度	775	778	1,553	729	730程度	1,460程度	3,010程度

５．鋼材出荷量

単位:万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
H22年度	776	784	1,559	766	810	1,576	3,135
H23年度	740	728	1,468	720	730程度	1,450程度	2,920程度

６．鋼材平均価格

単位:千円/トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
H22年度	79.1	86.4	82.8	81.4	79.7	80.6	81.7
H23年度	85.8	89.8	87.8	87.6	82程度	85程度	86程度

７．鋼材輸出比率（金額ベース）

単位:％

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
H22年度	42.5	38.7	40.5	39.8	40.9	40.4	40.4
H23年度	41.9	40.1	41.0	36.9	37程度	37程度	39程度

８．為替レート

単位:円/$

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
H22年度	93	86	90	83	82	82	86
H23年度	82	78	80	78	80程度	79程度	79程度

９．その他有価証券含み損益

単位：億円

	H23 年度第 3 四半期末	H22 年度末	差異
連結	986(638)	1,758(1,047)	-771(-409)
【日経平均】	【8,455 円】	【9,755 円】	【-1,300 円】

（ ）内は税効果後の純資産直入額

１０．設備投資（工事ベース）及び減価償却費

単位：億円

	平成 23 年度見通し		平成 22 年度実績	
	設備投資額	減価償却費	設備投資額	減価償却費
連結	2,650	2,800	2,900	2,915
単独	1,800	2,100	2,100	2,201

以　上